

DENON[®]

PMA-60

INTEGRATED AMPLIFIER

取扱説明書

- 記載内容は予告なく更新される場合があります。最新の取扱説明書は、WEB マニュアルをご覧ください。

<http://manuals.denon.com/PMA60/JP/JA/>



目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

目次

使用上のご注意	4
携帯電話使用時のご注意	4
お手入れについて	4
結露(つゆつき)について	4
付属品	5
特長	6
高品質	6
多彩な機能	7
各部の名前	8
フロントパネル	8
ディスプレイ	10
リアパネル	11
リモコン	12

接続のしかた

本機を設置する	16
横向きに設置する	16
縦向きに設置する	17
リモコンを使用する前に	19
リモコンの使いかた	20
スピーカーを接続する	21
スピーカーを接続する	22
パソコンと接続する	23
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	24
アナログ音声出力端子付きの機器を接続する	25
電源コードを接続する	26

再生のしかた

基本操作	28
電源を入れる	28
電源をスタンバイにする	28
入力ソースを選ぶ	29
音量を調節する	30
一時的に音を消す(ミュートイング)	30
ディスプレイの明るさを切り替える	30
機器を再生する	31
パソコンと接続して再生する(USB-DAC)	31
デジタル接続で音楽を聴く(COAXIAL/OPTICAL-1/ OPTICAL-2)	40
アナログ接続で音楽を聴く(AUX)	41
Bluetooth 機器の音楽を聴く	42

設定のしかた

メニュー一覧	50
Source Direct	52
Bass	52
Treble	52
Balance	52
H/P AMP Gain	52
Bluetooth	53
Auto Standby	53

困ったときは

こんなときの解決方法	55
故障かな?と思ったら	56
お買い上げ時の設定に戻す	63
保証と修理について	64

付録

再生できる音声信号の仕様	66
D/A コンバーター	66
Bluetooth 機器の再生について	66
Bluetooth 通信について	66
用語の解説	67
登録商標について	68
主な仕様	69
索引	72

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

ステレオ音のエチケット

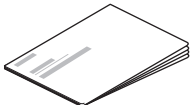
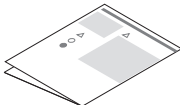
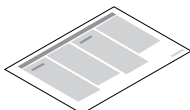
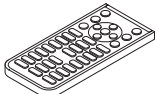
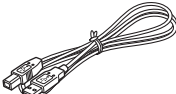
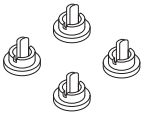


- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

付属品

ご使用になる前にご確認ください。

 かんたんスタートガイド	 取扱説明書(本書)	 安全にお使いいただくために	 電波に関するご注意
 保証書	 電源コード 【本機専用】	 リモコン(RC-1220) (電池内蔵)	 USBケーブル
 キャップ(シルバー)(4個)			

特長

高品質

• 高品質クラス D アンプ搭載

アンプ部にクアルコム社製 Qualcomm® DDFA™ テクノロジーを採用しました。出力段回路はディスクリート構成とし、従来のクラス D アンプと比較して高 S/N、低歪みを実現しました。また 50W+50W(4Ω)という筐体サイズを超えた高出力を備え、「繊細さと力強さを両立したサウンド」という、デノンの理想とする音楽再生環境をお楽しみいただけます。

Qualcomm® DDFA™

Qualcomm DDFA is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission. DDFA is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.

• ハイビット・ハイサンプリングを実現した Advanced AL32 Processing Plus

デノン独自のデータ補間アルゴリズムによるハイビット、ハイサンプリング化を実現しました。16bit の音声信号を 32bit 精度へハイビット化、さらに 44.1kHz のサンプリング信号を 16 倍にアップサンプリングすることで、より滑らかな波形再現を実現します。また、データの補間は、補間ポイントの前後に存在する多数の点からあるべき点を推測し、より原音に近い理想的な点を補間します。デジタル録音時に失われたデータを精巧に復元することで、歪みのない繊細な描写、正確な音の定位、豊かな低域、原音に忠実な再生を実現しています。

多彩な機能

- **ハイレゾリレーション音源の再生に対応した USB-DAC 機能を搭載**

高解像度のオーディオフォーマットである DSD (2.8/5.6/11.2MHz) や最大 384kHz/32 ビットの PCM 信号の再生に対応しています。

USB-B 接続したパソコンからの高解像度ファイルの高音質再生を実現しています。

- **さまざまなデジタル入力機器に対応**

2 系統の光デジタル入力と 1 系統の同軸デジタル入力を装備しており、TV などのさまざまなデジタル入力機器を接続することができます。

- **Bluetooth 対応機器とワイヤレス接続 (P.42 ページ)**

お手持ちのスマートフォン、タブレットなどの Bluetooth 対応機器とワイヤレスで接続することで、本機から離れた場所においても、メールやウェブサイトを眺めながら音楽をお楽しみいただけます。また、高音質コーデックの aptX Low Latency および AAC に対応していますので、迫力のある音で音楽やゲームをお楽しみいただけます。

- **ワンタッチで接続が可能な NFC 機能搭載 (P.47 ページ)**

NFC 搭載のスマートフォンやタブレットなどを本機にタッチするだけで本機の電源がオンになり、Bluetooth 接続が完了します。

- **縦置きに対応**

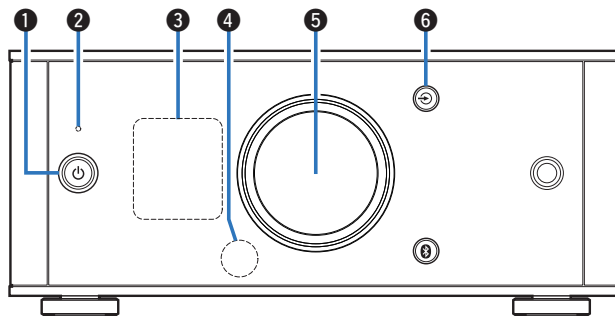
本機は縦置きと横置きのどちらにも対応しています。設置方向に合わせて、ディスプレイが自動的に回転します。

- **システムリモコンを付属**

デノン製 CD プレーヤー DCD-50 の操作もできるシステムリモコンを付属しています。

各部の名前

フロントパネル



① 電源ボタン(⏻)

電源をオン/スタンバイします。(☞ 28 ページ)

電源の状態を次のように表示します。

- 電源オン時: ディスプレイ点灯
- スタンバイ時: ディスプレイ消灯

② 保護回路動作表示

保護回路がはたらいているときに点滅します。

- 「電源が入らない / 電源が切れる」(☞ 57 ページ)
- 「保護回路について」(☞ 67 ページ)

③ ディスプレイ

各種情報を表示します。(☞ 10 ページ)

④ リモコン受光部

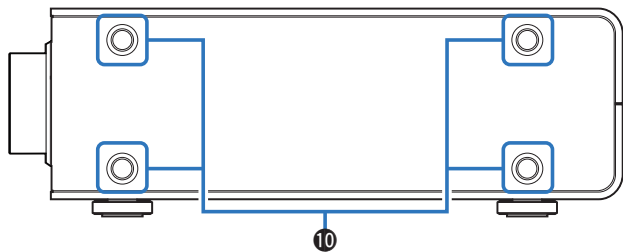
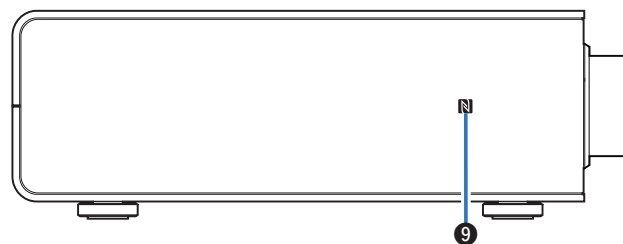
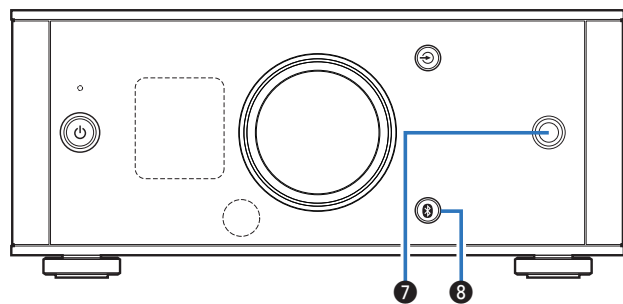
リモコンからの信号を受信します。(☞ 20 ページ)

⑤ 音量調節つまみ

音量を調節します。(☞ 30 ページ)

⑥ 入力ソース切り替えボタン(↺)

入力ソースを切り替えます。(☞ 29 ページ)



7 ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカー端子から音が出なくなります。

ご注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

8 Bluetooth ボタン (📶)

入力を Bluetooth に切り替えます。また、ペアリング操作のときに押します。(📖 43 ページ)

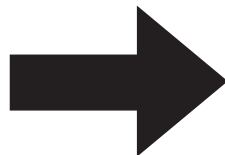
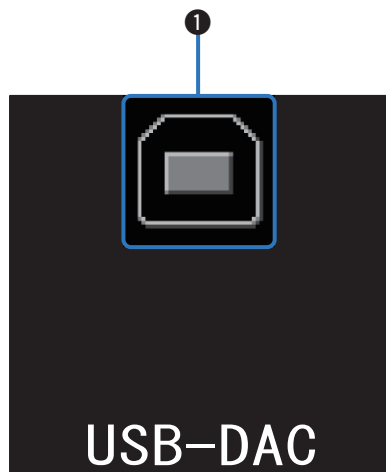
9 N-Mark (N)

NFC 機能を搭載した Bluetooth 機器とペアリング(登録)するときに、このマークに Bluetooth 機器をタッチします。
(📖 47 ページ)

10 縦置き用フット取り付け穴

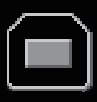
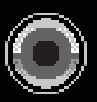
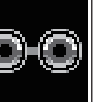
本機を縦置きする際に使用します。(📖 17 ページ)

ディスプレイ



① 入力ソース表示

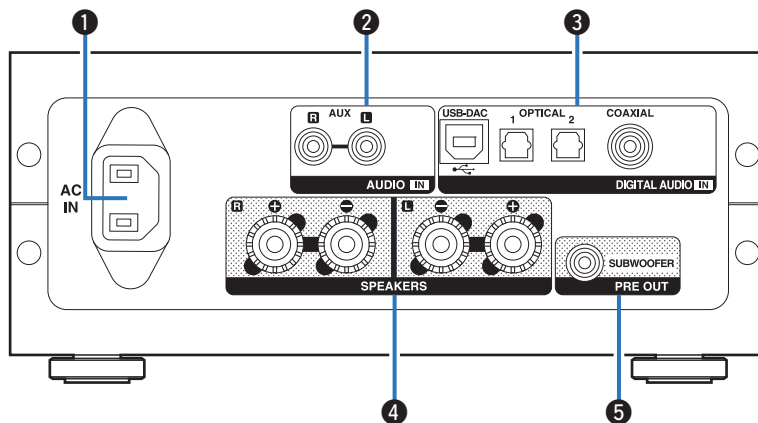
選択している入力ソースによって、次のように表示します。

USB-DAC	COAXIAL	OPTICAL-1	OPTICAL-2	AUX	Bluetooth
					

② インフォメーションディスプレイ

入力している音声信号の情報や接続している Bluetooth 機器の名称などを表示します。

リアパネル



① AC インレット(AC IN)

付属の電源コードを接続します。(P.26 ページ)

② AUX 入力端子(AUDIO IN)

CD プレーヤーなどのアナログ音声出力端子付きの機器を接続します。(P.25 ページ)

③ デジタル音声入力端子(DIGITAL AUDIO IN)

パソコンやデジタル音声出力端子付きの機器を接続します。

- 「パソコンと接続する」(P.23 ページ)
- 「デジタル音声出力端子付きの機器を接続する」(P.24 ページ)

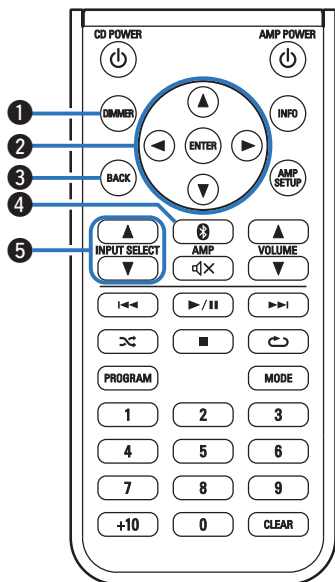
④ スピーカー端子(SPEAKERS)

スピーカーを接続します。(P.22 ページ)

⑤ サブウーハー端子(PRE OUT)

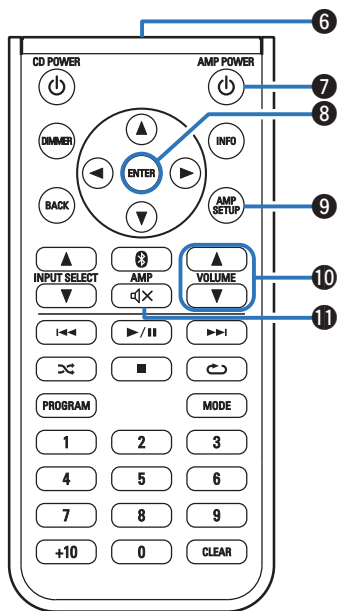
アンプ内蔵のサブウーハーを接続します。(P.22 ページ)

リモコン



■ 本機の操作

- ① **ディマーボタン(DIMMER)**
本機のディスプレイの明るさを調節します。(P.30 ページ)
- ② **カーソルボタン(△▽◀▶)**
メニュー項目を選択します。
- ③ **バックボタン(BACK)**
前の項目に戻ります。
- ④ **Bluetooth ボタン(📶)**
入力を Bluetooth に切り替えます。また、ペアリング操作のときに押します。(P.43 ページ)
- ⑤ **入力ソース選択ボタン(INPUT SELECT ▲▼)**
入力ソースを切り替えます。(P.29 ページ)



⑥ リモコン信号送信窓

リモコンの信号を送信します。(P.20 ページ)

⑦ 電源ボタン(AMP POWER ㏻)

電源をオン/スタンバイします。(P.28 ページ)

⑧ エンターボタン(ENTER)

選択した内容を確定します。

⑨ セットアップボタン(AMP SETUP)

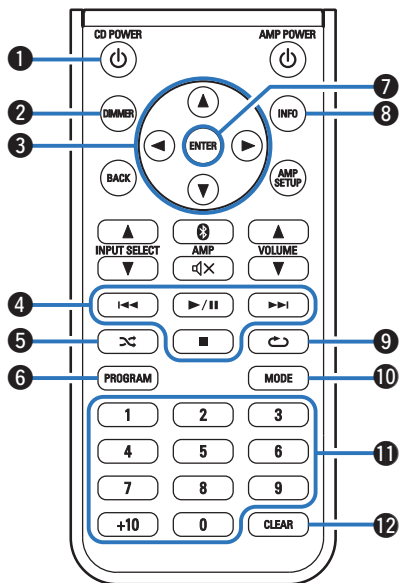
ディスプレイに設定メニューを表示します。(P.51 ページ)

⑩ 音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)

音量を調節します。(P.30 ページ)

⑪ ミュートボタン(㊦)

消音します。(P.30 ページ)



■ CD プレーヤーの操作

デノン製 CD プレーヤーを操作できます。

- ① 電源ボタン(CD POWER )
- ② ディマーボタン(DIMMER)
- ③ カーソルボタン(△▽◀▶)
- ④ システムボタン
 - スキップボタン(I<<<, >>>I)
 - プレイ/ポーズボタン(▶/||)
 - ストップボタン(■)
- ⑤ ランダムボタン(⌘)
- ⑥ プログラムボタン(PROGRAM)
- ⑦ エンターボタン(ENTER)
- ⑧ インフォメーションボタン(INFO)
- ⑨ リPEATボタン(↺)
- ⑩ モードボタン(MODE)
- ⑪ 数字ボタン(0~9、+10)
- ⑫ クリアボタン(CLEAR)



- 一部操作ができない製品もあります。

接続のしかた

■ 目次

本機を設置する	16
横向きに設置する	16
縦向きに設置する	17
リモコンを使用する前に	19
スピーカーを接続する	21
パソコンと接続する	23
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	24
アナログ音声出力端子付きの機器を接続する	25
電源コードを接続する	26

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

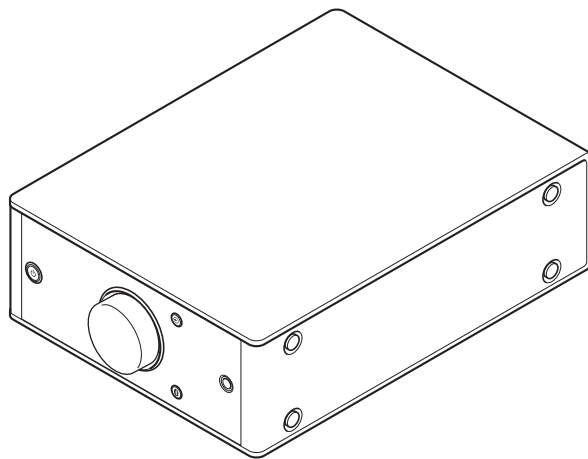
スピーカーケーブル	
オーディオケーブル	
光伝送ケーブル	
同軸デジタルケーブル	
USB ケーブル (付属)	

本機を設置する

横向きと縦向き、2種類の設置ができます。設置場所やお好みに合わせてお選びください。

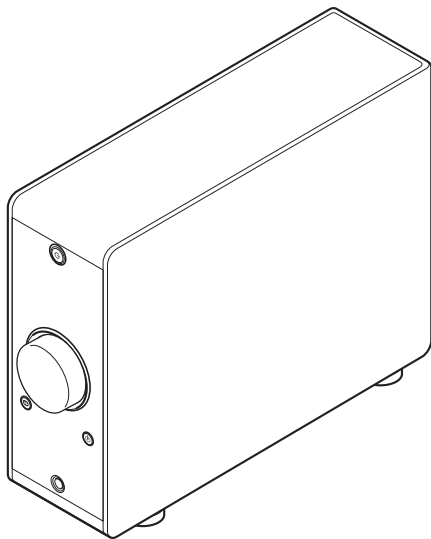
横向きに設置する

お買い上げ時は、横向きに設置するようにフットが取り付けられています。

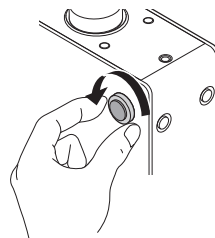


縦向きに設置する

ノートパソコンの脇や、狭い場所に設置する場合に適しています。

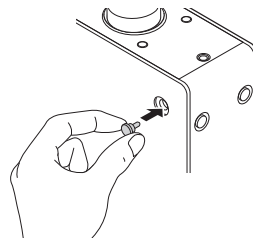


1 フットを外す。

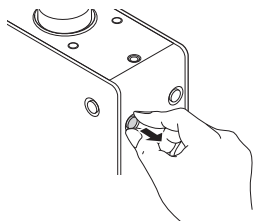


- 4つのフットをそれぞれ反時計回しで外します。

2 フットを外した穴に、付属のキャップ(シルバー)をはめる。



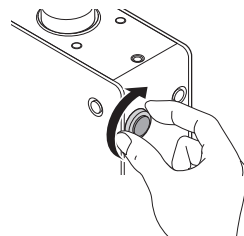
3 キャップ(黒)を外す。



ご注意

- キャップを外す際に、爪を傷めないようご注意ください。
必要な場合は先端の細い工具をお使いください。そのとき、本体を工具で傷つけないようご注意ください。

4 外したフットを時計回しで取り付ける。

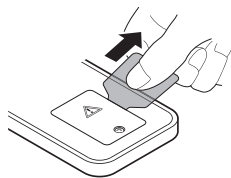


ご注意

- フットを取り付けたあとに本機が安定して設置されるよう、必要に応じてフットの高さを調整してください。

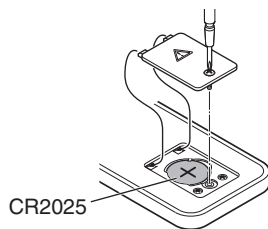
リモコンを使用する前に

リモコンにはあらかじめリチウム電池が入っています。
絶縁シートを引き抜いてご使用ください。



■ 電池交換のしかた

1. 精密プラスドライバー（市販品）を使い、裏ぶたのネジをゆるめて裏ぶたを外す。
2. 古い電池を取り外し、新しいコイン型リチウム電池（CR2025）を＋の刻印を上にして入れる。
3. 裏ぶたを元どおりにし、ネジを締める。

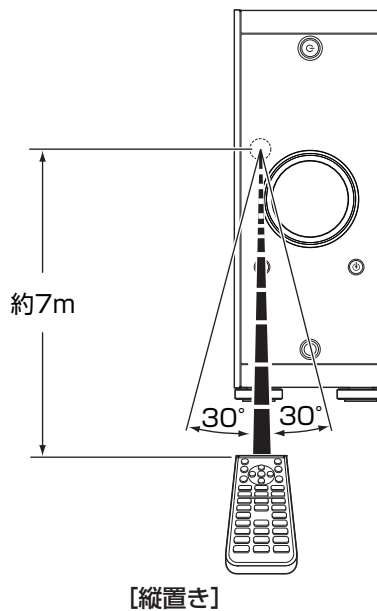
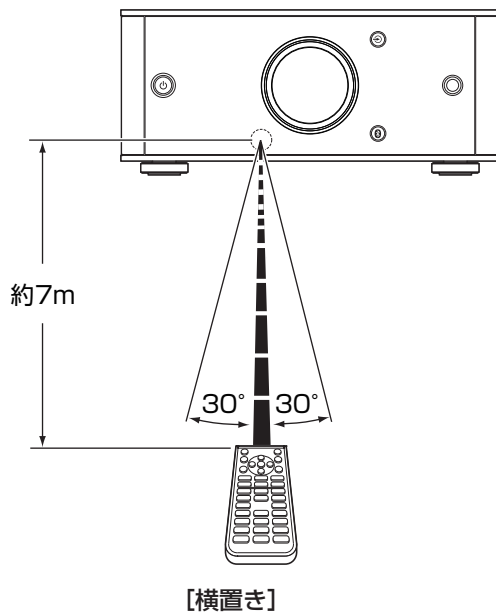


ご注意

- 万一、リチウム電池の液漏れがおこったときは、ただちに電池を処分してください。この際、液が皮膚や衣服に付着すると火傷する恐れがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。誤って付着してしまった場合は、ただちに水道水で洗浄し医師の診断を受けてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



スピーカーを接続する

ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、サブウーハーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。（「保護回路について」[\(P.67 ページ\)](#)）
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは 4～16Ω のインピーダンスのものをお使いください。

■ スピーカーケーブルを接続する

本機とお使いになるスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)をよく確認し、同じ極性を接続してください。

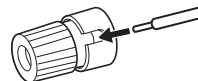
- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。



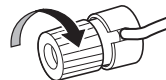
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



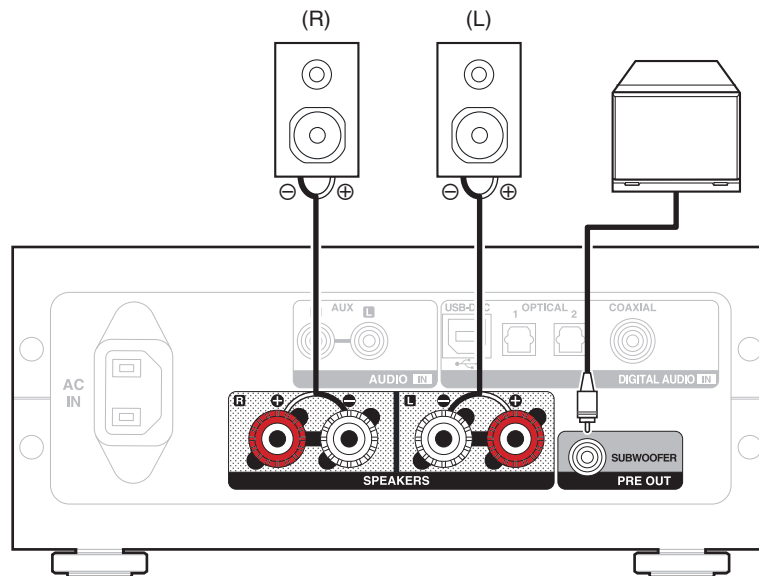
- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。



- 4 スピーカー端子を右に回して締める。



スピーカーを接続する

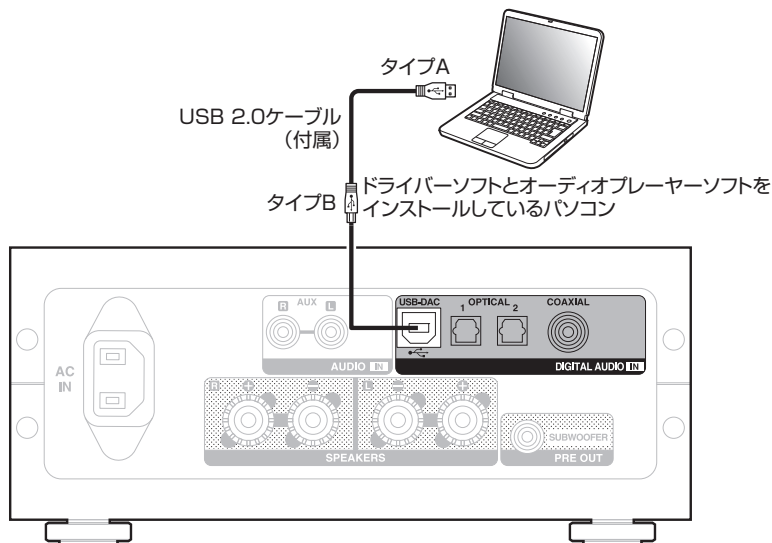


パソコンと接続する

本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)とパソコンを USB ケーブル(付属)で接続すると、パソコンの音楽データを本機の D/A コンバーターで再生できます。(P.31 ページ)

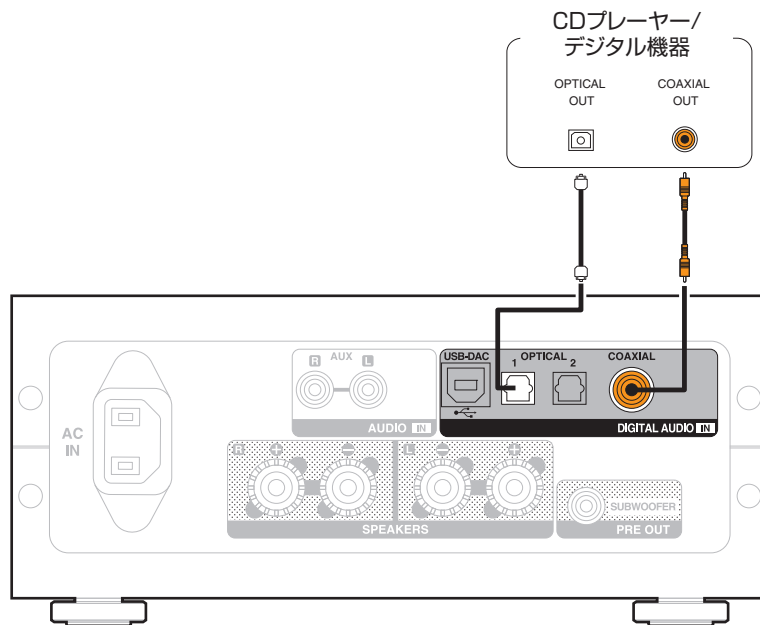
ご注意

- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。(P.32 ページ)
- ドライバーソフトは当社ウェブサイトの PMA-60 のページからダウンロードしてください。
- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。



デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力し、本機の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生する接続です。(P.40 ページ)

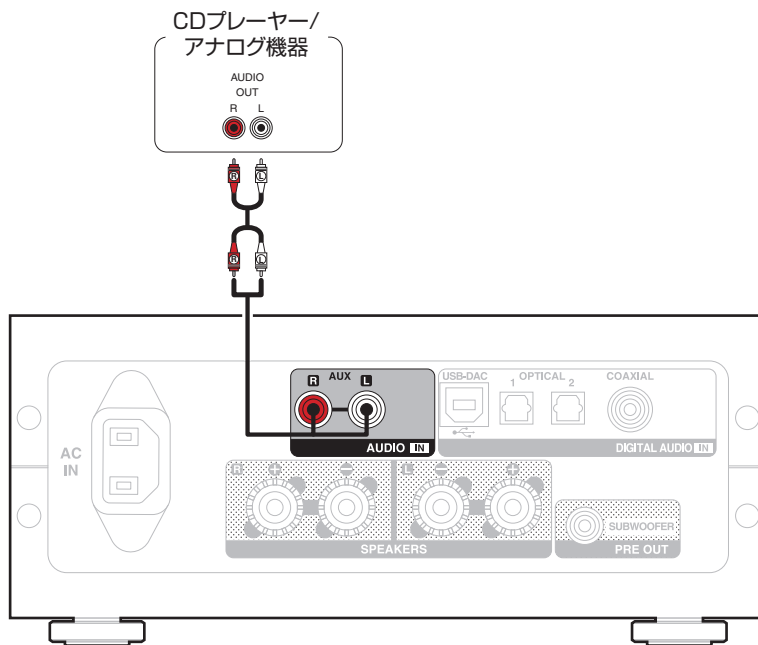


■ 再生できる音声信号について

「D/A コンバーター」(P.66 ページ)をご覧ください。

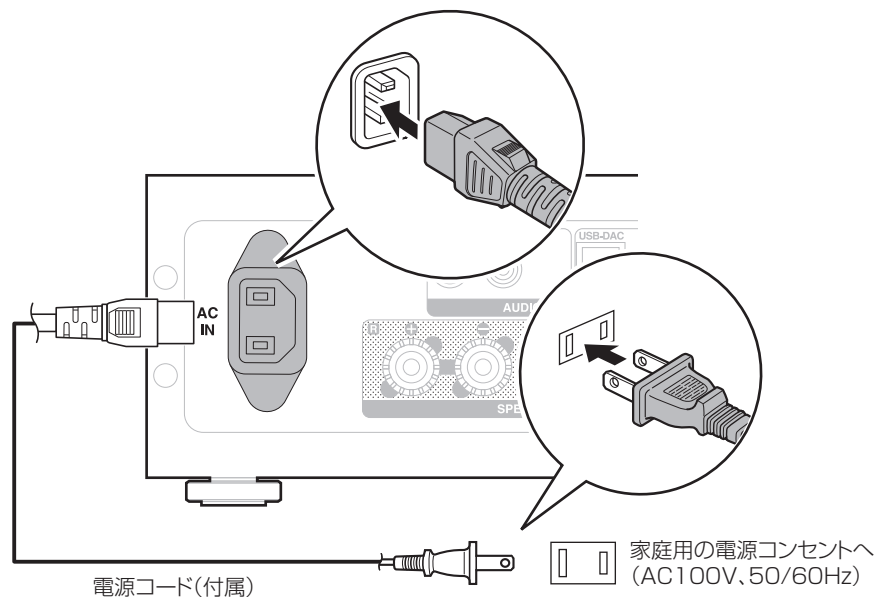
アナログ音声出力端子付きの機器を接続する

本機には、CD プレーヤーなどのアナログ機器を接続できます。



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

■ 目次

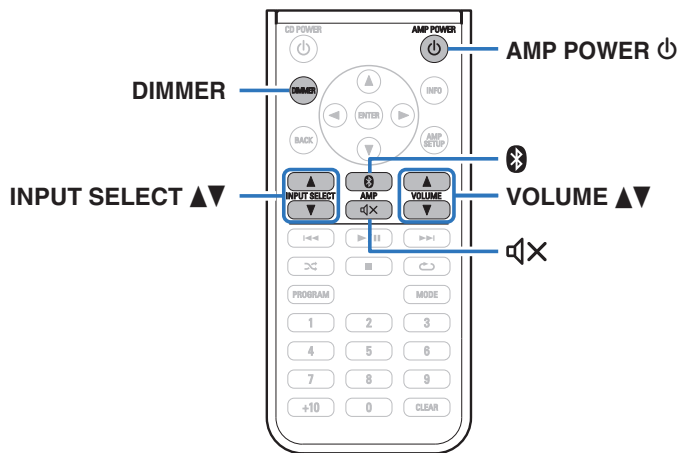
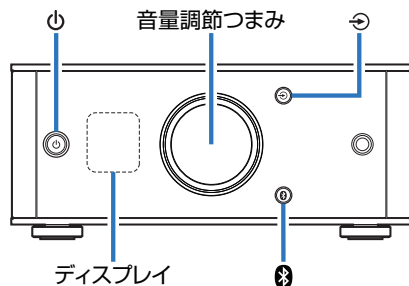
基本操作

電源を入れる	28
電源をスタンバイにする	28
入力ソースを選ぶ	29
音量を調節する	30
一時的に音を消す(ミュートイング)	30
ディスプレイの明るさを切り替える	30

機器を再生する

パソコンと接続して再生する(USB-DAC)	31
デジタル接続で音楽を聴く(COAXIAL/OPTICAL-1/ OPTICAL-2)	40
アナログ接続で音楽を聴く(AUX)	41
Bluetooth 機器の音楽を聴く	42

基本操作



電源を入れる

1 電源ボタンを押して、電源を入れる。

ディスプレイが点灯します。



- リモコンの AMP POWER 電源ボタンを押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができます。

電源をスタンバイにする

1 電源ボタンを押す。

ディスプレイが消灯します。



- リモコンの AMP POWER 電源ボタンを押しても、スタンバイ状態にすることができます。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

入力ソースを選ぶ

■ USB-DAC、DIGITAL IN または ANALOG IN を選ぶ

- 1  を押して、再生する入力ソースを選ぶ。
ディスプレイに次のアイコンを表示します。



USB-DAC: パソコンの音声を再生します。



COAXIAL: COAXIAL 端子に接続した機器を再生します。



OPTICAL-1: OPTICAL 1 端子に接続した機器を再生します。



OPTICAL-2: OPTICAL 2 端子に接続した機器を再生します。



AUX: AUX 端子に接続した機器を再生します。



- リモコンの INPUT SELECT ▲▼ を押しても操作できます。

■ Bluetooth を選ぶ

- 1  を押す。
ディスプレイに次のアイコンを表示します。



Bluetooth: Bluetooth 機器の接続および再生をおこないます。



- リモコンの  を押しても操作できます。

音量を調節する

1 音量調節つまみを回して、音量を調節する。

ディスプレイに音量を表示します。



- リモコンの VOLUME ▲▼ を押しても操作できます。
- 音量は---dB(ミュート)、-90dB~0dB の範囲で調節できます。

一時的に音を消す(ミュート)

1 リモコンのMutingを押す。

ディスプレイに“MUTING”を表示します。



- もう一度Mutingを押すと、ミュートを解除します。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを 3 段階で調節できます。

1 リモコンの DIMMER を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。



- ディマーボタン(DIMMER)はデノン製 CD プレーヤー DCD-50 にもはたきますので、本機と一緒に調節することができます。それぞれの設定が異なる場合、DIMMER を 2 秒以上押してともに初期化してから調節してください。
- お買い上げ時のディスプレイの明るさは、最も明るい設定です。

機器を再生する

パソコンと接続して再生(USB-DAC)

パソコンに保存している音楽ファイルを USB 接続で本機に入力すると、本機に搭載している D/A コンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。
- Mac OS をご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

■ パソコン(動作環境)

OS

- Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10
- Mac OS X 10.10、10.11 および macOS 10.12

USB

- USB 2.0: USB High speed/USB Audio Class Ver. 2.0

ご注意

- 当社ではこれらの動作環境で確認をしていますが、すべてのシステムでの動作を保証するものではありません。

- DSD は、登録商標です。
- Microsoft、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 と Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Windows
OS

専用ドライバーソフトのインストール(🔗 [32 ページ](#))

Mac
OS

オーディオ装置の確認(🔗 [38 ページ](#))

■ 専用ドライバーソフトのインストール (Windows OS のみ)

□ パソコンへドライバーソフトをインストールする方法

1 本機とパソコンのUSB 接続を外す。

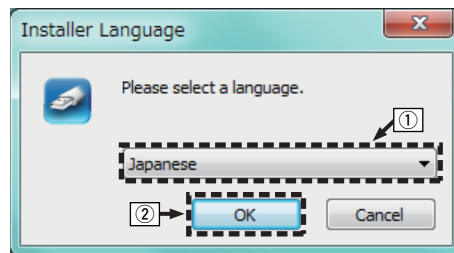
- 本機とパソコンを USB 接続しているとドライバーソフトを正しくインストールできません。
- パソコンにドライバーソフトをインストールする前に、本機と USB 接続してパソコンを立ち上げた場合、USB 接続を外して、パソコンを再起動してください。

2 ご使用のパソコンに、当社ウェブサイト PMA-60 のページの“ダウンロード”から専用ドライバーをダウンロードする。

3 ダウンロードファイルを解凍し、exe ファイルをダブルクリックする。

4 ドライバーソフトをインストールする。

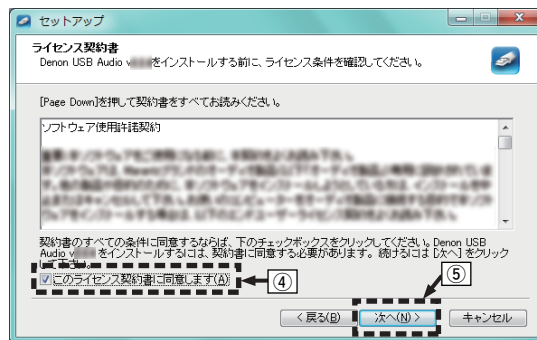
- ① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
- ② “OK”をクリックする。



- ③ ウィザードメニューが表示されたら“次へ(N)”をクリックする。

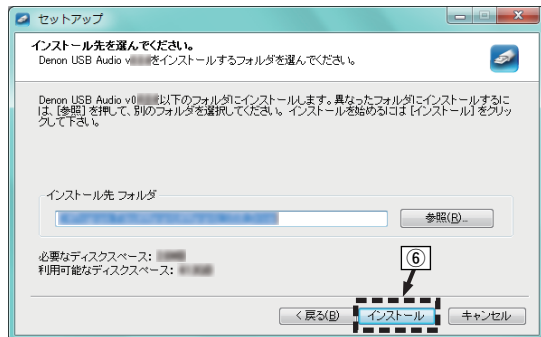


- ④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“このライセンス契約書に同意します(A)”を選ぶ。
⑤ “次へ(N)”をクリックする。

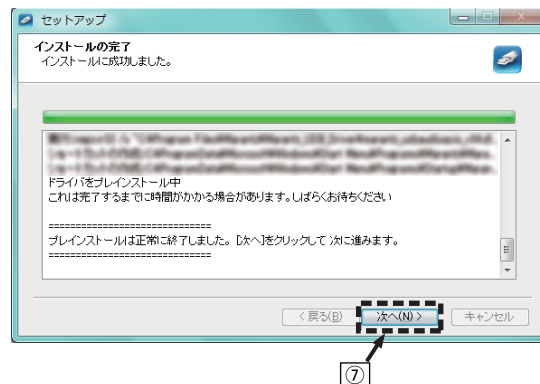


⑥ インストール開始ダイアログの“インストール”をクリックする。

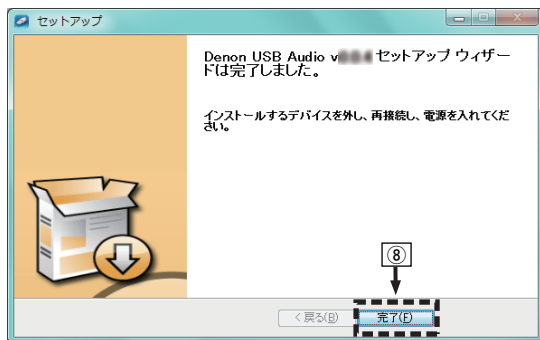
- インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。



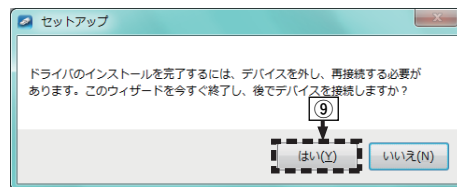
⑦ “次へ(N)”をクリックする。



- ⑧ インストール終了画面を表示したら“完了(F)”をクリックする。



- ⑨ “はい(Y)”をクリックする。



5 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンを USB ケーブル(付属)で接続する。

- 接続のしかたは「パソコンと接続する」(P.23 ページ)をご覧ください。

6 電源を押す。

- 本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。

7 電源ボタンを押して、入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。

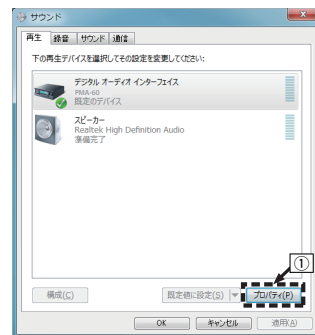
8 インストールしたドライバーを確認する。

- ① パソコン画面の“スタート”をクリックして、“コントロールパネル”をクリックする。
 - コントロールパネルの設定一覧を表示します。
- ② “サウンド”をクリックする。
 - サウンドメニュー画面を表示します。
- ③ “再生”タブの“PMA-60”に“既定のデバイス”のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“PMA-60”を選択してから“既定値に設定”をクリックしてください。

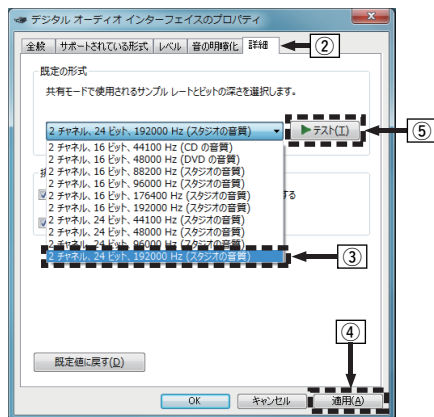
9 音声出力を確認する。

パソコンからテスト信号を出力して USB-DAC 機能の音声出力を確認します。

- ① サウンドメニュー画面の“PMA-60”を選び、“プロパティ”をクリックする。
 - PMA-60 のプロパティ画面を表示します。



- ② “詳細” タブをクリックする。
- ③ D/A 変換をおこなうサンプリング周波数とビット数を選ぶ。
 - “2 チャンネル、24 ビット、192000 Hz(スタジオの音質)” に設定することをおすすめします (Windows 7)。
 - “2 チャンネル、32 ビット、192000 Hz(スタジオの音質)” に設定することをおすすめします (Windows 8/Windows 8.1/Windows 10)。
- ④ “適用(A)” をクリックする。
- ⑤ “テスト(T)” をクリックする。
 - 本機からパソコンの音声が出力されることを確認します。

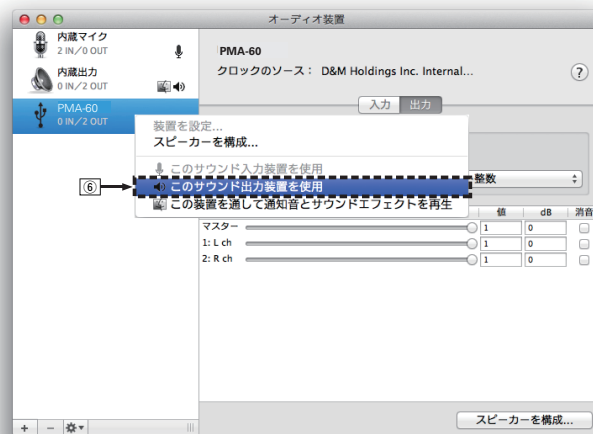


ご注意

- 専用ドライバーはパソコンと本機を USB 接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。
- サンプリング周波数 352.8kHz/384kHz のファイルをダウンサンプリングせずに再生する場合は、ASIO (Audio Stream Input Output) ドライバーに対応したプレーヤーソフトが必要です。ASIO ドライバーでの再生は、ご使用のプレーヤーソフトをご確認ください。
- 本機を使用してパソコンからの音楽が正しく再生できない場合、<http://denon.jp/jp/html/faq.html> の FAQ をご参照ください。また、使用するプレーヤーソフトのサポートページもご確認ください。

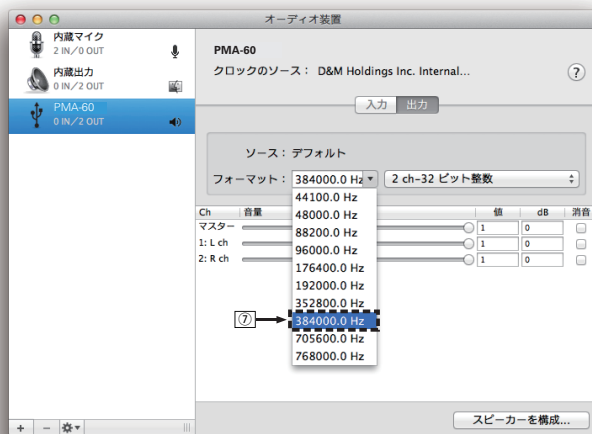
■ オーディオ装置の確認(Mac OS のみ)

- ① 本機の電源をオフにしたまま、本機と Mac を USB ケーブル (付属) で接続する。
 - 接続のしかたは「パソコンと接続する」をご覧ください。
([P23 ページ](#))
- ② **⏻** を押す。
- ③ **⏮** を押して、入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。
- ④ パソコン画面の“移動”にカーソルを合わせ、“ユーティリティ”をクリックする。
 - ユーティリティの一覧を表示します。
- ⑤ “Audio MIDI 設定”をダブルクリックする。
 - “オーディオ装置”画面を表示します。
- ⑥ “PMA-60”に、“このサウンド出力装置を使用”のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“PMA-60”を選択してから副ボタンクリックして、“このサウンド出力装置を使用”を選択してください。



⑦ “PMA-60”のフォーマットを選択する。

- “384000.0Hz”、“2ch-32 ビット整数”に設定することをおすすめします。



⑧ AudioMIDI 設定を終了する。

■ 再生

あらかじめご使用のパソコンにお好みのプレーヤーソフトをインストールしてください。

本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)にパソコンを接続してください。(P.23 ページ)

1 再生ボタンを押して、入力ソースを“USB-DAC”に切り替える。

パソコンのプレーヤーソフトで再生をはじめます。

入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

PCM
xxxkHz
USB-DAC

または

DSD
xxxMHz
USB-DAC

(xxx はサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlocked”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。

■ 再生できる音声信号について

「D/A コンバーター」(P.66 ページ)をご覧ください。

ご注意

- 再生、停止などはパソコンで操作してください。本体のボタンおよびリモコンでは操作できません。
- パソコンでは、音量およびイコライザーの調節もできます。お好みの音量でお楽しみください。
- 本機が D/A コンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音声は出力されません。
- パソコンの再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続を外すと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続を外してください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USB ケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- 再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が異なることがあります。
- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。

デジタル接続で音楽を聴く (COAXIAL/OPTICAL-1/OPTICAL-2)

- 1 **↻** を押して、入力ソースを“COAXIAL”、“OPTICAL-1”または“OPTICAL-2”に切り替える。
入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

PCM xxxkHz COAXIAL	または	PCM xxxkHz OPTICAL-1	または	PCM xxxkHz OPTICAL-2
--------------------------	-----	----------------------------	-----	----------------------------

(xxxx はサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlocked”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。

2 接続機器で音楽を再生する。

スピーカーから接続機器の音楽を出力します。

■ 再生できる音声信号について

「D/A コンバーター」(P.66 ページ)をご覧ください。

ご注意

- ドルビーデジタル、DTS などリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。

アナログ接続で音楽を聴く(AUX)

- 1  を押して、入力ソースを“AUX”に切り替える。
- 2 接続機器で音楽を再生する。
スピーカーから接続機器の音楽を出力します。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

本機と Bluetooth 機器を Bluetooth 接続すると、音楽をワイヤレスでお楽しみいただけます。

■ ペアリング

ペアリング(登録)とは、Bluetooth 機器と本機を接続するために必要な操作です。ペアリングすると互いの機器が認証し合うので、混線することなく接続できます。

はじめて Bluetooth 機器を接続する場合は、最初に本機と本機に接続する Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。本機は最大 8 台までのペアリング情報を保持します。

ご注意

- 複数の Bluetooth 機器の音楽を同時に出力することはできません。

■ Bluetooth 接続のしかた

Bluetooth 接続のしかたには次の 3 通りがあります。お客様のケースに応じて接続をおこなってください。

ケース 1 はじめて本機とペアリングする( 43 ページ)

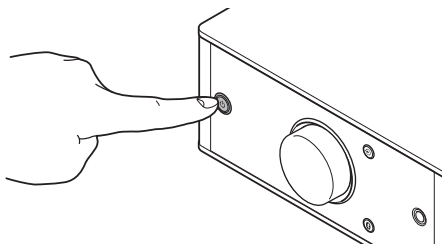
ケース 2 一度ペアリングした Bluetooth 機器と接続する( 46 ページ)

ケース 3 NFC 機能搭載の Bluetooth 機器を NFC 接続する( 47 ページ)

■ ケース 1: はじめて本機とペアリングする

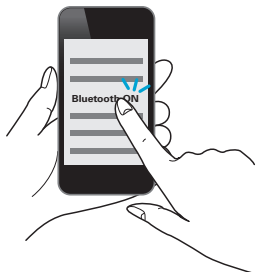
1 電源を押して、電源を入れる。

ディスプレイが点灯します。



2 Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする。

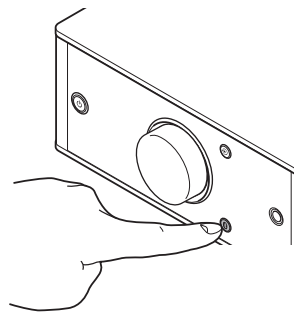
• 詳しくは、Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。



3 Bluetooth を 3 秒以上押す。

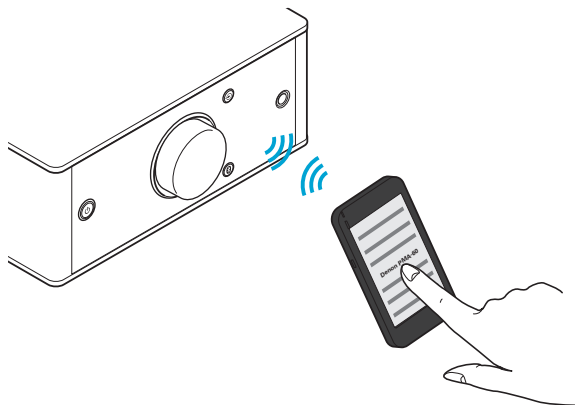
ディスプレイに“Pairing”を表示し、ペアリングモードに入ります。

- お買い上げ後、はじめて Bluetooth を押すと、自動的にペアリングモードに入ります。



4 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧の中から“Denon PMA-60”を選ぶ。

ペアリングが完了して Bluetooth 接続されると、ディスプレイに機器名を表示します。



- Bluetooth 機器の画面に“Denon PMA-60”が表示されないときは、Bluetooth 機器でデバイスの検索をおこなってください。
- Bluetooth 機器の画面でパスキーの入力を要求されたときは、“0000”を入力してください。
- ディスプレイには、半角英数字と一部の記号のみ表示することができます。対応していない文字は “.”(ピリオド)”に置き換えて表示します。

5 Bluetooth 機器で音楽を再生する。

スピーカーから Bluetooth 機器で再生している音楽を出力します。



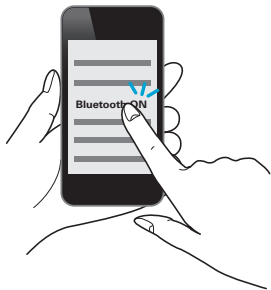
- 適切な音量に調節してください。
- ペアリングできないときは、もう一度手順 3 から操作してください。
- 別の Bluetooth 機器とペアリングする場合は、ペアリングしたい機器ごとに手順 2～5 をおこなってください。
- Bluetooth 機器と接続していないときは、ディスプレイに“No Connection”を表示します。

ご注意

- 本機のペアリングモードは約 5 分間続きます。ペアリングを完了する前に、本機のペアリングモードが解除された場合は、もう一度手順 3 からおこなってください。
- 本機はパスキーが“0000”以外の Bluetooth 機器とペアリングすることはありません。

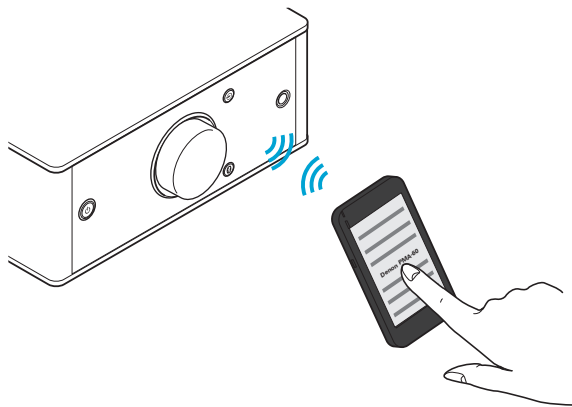
■ ケース 2: 一度ペアリングした Bluetooth 機器と接続する

- 1 Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする。
 - 詳しくは、Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。



- 2 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧の中から“Denon PMA-60”を選ぶ。

自動的に本機の電源がオンになり、Bluetooth 接続が始まります。Bluetooth 接続されると、ディスプレイに機器名を表示します。



- 3 Bluetooth 機器で音楽を再生する。

スピーカーから Bluetooth 機器の音楽を出力します。

■ ケース 3:NFC 機能搭載の Bluetooth 機器を NFC 接続する

Bluetooth 機器を本機にタッチするだけで、自動的に本機の電源が入り、Bluetooth 機器のペアリングや接続ができます。

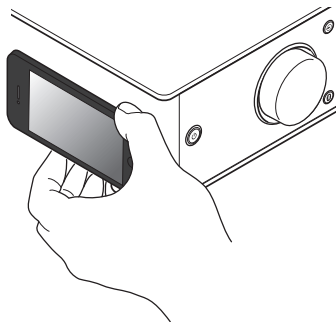
1 Bluetooth 機器の NFC 機能をオンにする。

- 詳しくは、Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

2 Bluetooth 機器の NFC アンテナ部分を本機の **N** にタッチする。

本機の電源がオンになり、Bluetooth 接続をはじめます。Bluetooth 接続されると、ディスプレイに機器名を表示します。

- Bluetooth 機器の指示に従って操作を完了してください。



3 Bluetooth 機器で音楽を再生する。

本機から Bluetooth 機器の音楽を出力します。



- 音楽を再生している Bluetooth 機器を本機の N-Mark(**N**)にタッチすると、本機から音楽を出力します。
- Bluetooth 接続中に再度 N-Mark(**N**)にタッチすると、接続を解除します。
- Bluetooth 接続中に他の Bluetooth 機器で N-Mark(**N**)にタッチすると、先に接続した Bluetooth 機器の再生を停止して、あとからタッチした Bluetooth 機器と接続します。

ご注意

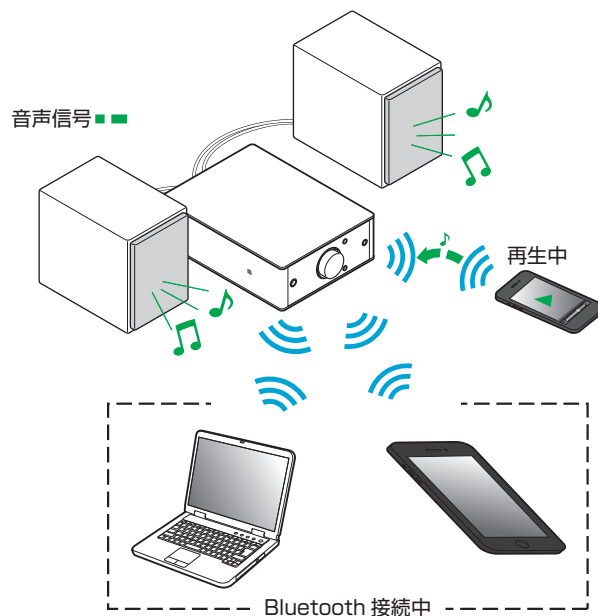
- NFC 接続をおこなうときは Bluetooth 機器のロック機能を解除してください。
- Bluetooth 機器を本機にタッチするときは軽くタッチしてください。

■ Bluetooth 機器を同時に接続する(マルチポイント機能)

本機から音楽を出力できるのは Bluetooth 接続している機器のうち 1 台のみですが、同時に 3 台の Bluetooth 機器を接続しておくことができます。(「Bluetooth 機器の音楽を聴く」(P.42 ページ))

よく使う機器を接続しておくと、再生する機器を切り替えるときに接続し直す必要がなく、便利です。

あらかじめ接続したい機器をペアリングしてください。



■ 再生する機器を切り替える

1 再生中の機器の再生を停止または一時停止する。

2 音楽を出力したい機器を再生する。



- Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオフにするときは、あらかじめ本機の電源をスタンバイにしてください。

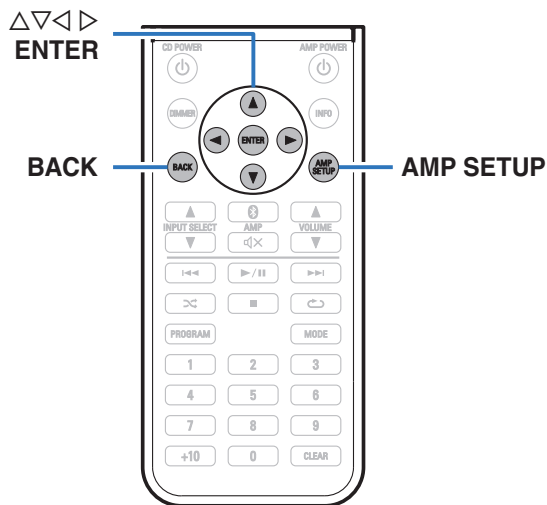
設定のしかた

メニュー 一覧

メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。

本機はお買い上げ時の設定をおすすめの設定にしています。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

設定項目	内容	参照ページ
Source Direct	ソースダイレクトモードに設定します。音声信号が音質調節回路(Bass、Treble、Balance)を通らないため、より原音に忠実な再生ができますが、音質の調節が無効になります。	52
Bass	低音を調整します。	52
Treble	高音を調整します。	52
Balance	左右の音量バランスを調節します。	52
H/P AMP Gain	ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。	52
Bluetooth	Bluetooth 機能のオン/オフを切り替えます。Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。	53
Auto Standby	音声の入力がない状態で本機を約 30 分間操作しないとき、自動的にスタンバイになるように設定します。	53



■ メニューの操作のしかた

- 1 AMP SETUP を押す。
ディスプレイにメニューを表示します。
- 2 △▽ を押して設定または操作したいメニューを選び、ENTER を押す。
- 3 △▽◀▶ を押して、お好みの設定に変更する。
- 4 ENTER を押して、設定を確定する。
 - 前の項目に戻るときは、BACK または ◀ を押してください。
 - メニューを終了するとき、メニュー表示中に AMP SETUP を押してください。メニュー表示が消灯します。

Source Direct

ソースダイレクトモードに設定します。音声信号が音質調節回路 (Bass、Treble、Balance) を通らないため、より原音に忠実な再生ができますが、音質の調節が無効になります。

Off (お買い上げ時の設定):	Source Direct 機能を無効にします。
On:	より原音に近い再生をおこないます。音質調整 (Bass、Treble、Balance) が無効になります。

Bass

低音を調整します。

-8dB～+8dB(お買い上げ時の設定: 0dB)

Treble

高音を調整します。

-8dB～+8dB(お買い上げ時の設定: 0dB)

Balance

◀▶ を押して、左右の音量バランスを調整します。

H/P AMP Gain

ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。ヘッドホンのインピーダンスが低い場合は“Low”側に、高い場合は“High”側に設定することをおすすめします。

Low:	ヘッドホンアンプのゲインを“Low”に設定します。ゲイン設定が“Mid”だと、音量が大きすぎる場合に設定してください。
Mid (お買い上げ時の設定):	ヘッドホンアンプのゲインを“Mid”に設定します。
High:	ヘッドホンアンプのゲインを“High”に設定します。ゲイン設定を“Mid”にしても、音量が足りない場合に設定してください。

ご注意

- “H/P AMP Gain”の設定に合わせて、ヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げるか、消音してからおこなってください。

Bluetooth

Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

On
(お買い上げ時の設定): Bluetooth 機能を有効にします。

Off: Bluetooth 機能を無効にします。



- Bluetooth を “Off” にすると、入力ソースを Bluetooth に切り替えられなくなります。

Auto Standby

何も操作せずに入力信号がない状態が約 30 分続いた場合に、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。

On: 約 30 分後に本機をスタンバイ状態にします。

Off:
(お買い上げ時の設定): 自動的に本機をスタンバイ状態にしません。

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

Bluetooth 機器で本機の電源をオンにしたい	55
他の Bluetooth 機器に簡単に接続を切り替えたい	55
NFC 対応の機器を NFC 接続したい	55
お好みの音質に調節したい	55
原音に忠実な再生をしたい	55

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	57
音がまったく出ない	58
音が歪んだり、途切れたり、ノイズが入ったりする	59
希望する音が出ない	59
パソコン内のファイルを再生できない	60
デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical)	61
リモコンで操作ができない	61
Bluetooth 機器の再生ができない	62
NFC 接続できない	62

こんなときの解決方法

Bluetooth 機器で本機の電源をオンにしたい

- 本機を Bluetooth 機器と一度ペアリングしている場合は、Bluetooth 機器の操作で本機の電源をオンにできます。Bluetooth 機器のデバイス一覧から“PMA-60”を選択すると、本機の電源がオンになります。

他の Bluetooth 機器に簡単に接続を切り替えたい

- 本機から音楽を出力できるのは Bluetooth 接続している機器のうち 1 台のみですが、同時に 3 台の Bluetooth 機器を接続しておくことができます。簡単に接続を切り替えるには、よく使う Bluetooth 機器をいつも接続しておいてください。複数の Bluetooth 機器を接続しているときに、他の Bluetooth 機器の再生に切り替えるときは、再生中の機器の再生を停止してから音楽を出力したい Bluetooth 機器を再生します。(🔗 [49 ページ](#))

NFC 対応の機器を NFC 接続したい

- NFC 対応機器の NFC 機能を有効にして、NFC 機器を本機の N-Mark (N) にタッチしてください。(🔗 [47 ページ](#))

好みの音質に調節したい

- 設定メニューの“Bass”、“Treble”、“Balance”で好みの音質に調節してください。(🔗 [52 ページ](#))

原音に忠実な再生をしたい

- 設定メニューの“Source Direct”を“On”に設定してください。(🔗 [52 ページ](#))

故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. スピーカーや接続機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない / 電源が切れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が入らない。	• コンセントへの電源コードの差し込みを点検してください。	26
	• 本機と電源コードの接続を確認してください。	26
	• スタンバイモードになっています。電源ボタン(ⓓ)を押してください。	28
	• 本機に付属の電源コードを使用してください。	26
電源が自動的に切れる。	• オートスタンバイモードがオンになっています。音声の入力がない状態で約 30 分間経過すると、自動的にスタンバイになります。オートスタンバイモードをオフにするには、設定メニューの“Auto Standby”を“Off”に設定してください。	53
電源が切れ、保護回路動作表示が約 2 秒間隔で、赤色に点滅している。	• 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で、1 時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。	28
	• 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。	—
電源が切れ、保護回路動作表示が約 0.5 秒間隔で、赤色に点滅している。	• スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直したあとで、接続し直してください。	21
	• 音量を下げ、電源を入れ直してください。	28
	• 本機のアンプ回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。	—

■ 音がまったく出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
音が出ない。	• すべての機器の接続を確認してください。	15
	• パソコンのサウンド設定を確認してください。	31
	• 接続ケーブルを奥まで挿してください。	—
	• スピーカーケーブルの被膜をスピーカー端子にはさんでいないか確認してください。	21
	• ケーブルが破損していないか確認してください。	—
	• 適切な入力ソースが選択されているか確認してください。	29
	• 本機および接続している機器の電源が入っているか確認してください。	—
	• 本機および接続している機器の音量を適切な大きさに調節してください。	30
	• Bluetooth 接続で再生する場合は、本機と Bluetooth 機器をペアリングしてください。	42
	• ミュートモードのときは、ミュートを解除してください。	30
	• 本体のヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを挿入していると、スピーカー端子から音が出なくなります。	9

■ 音が歪んだり、途切れたり、ノイズが入ったりする

症状	原因 / 対策	関連ページ
音が歪んだり、途切れたり、ノイズが入ったりする。	• 本機および接続している機器の音量を適切な大きさに調節してください。	30
	• 本機と Bluetooth 接続している機器を近づけてください。	—
	• 本機を電子レンジや無線 LAN 機器などから離してください。	—
	• Bluetooth 機器の電源を入れ直してください。	—
	• AUX 端子に接続している再生機器の音量を下げてください。	—
	• インピーダンスの高いヘッドホンや感度の低いヘッドホンを使うときは、“H/P AMP Gain”を“High”に切り替えてください。	52
パソコンの曲の再生中に音が途切れる。	• パソコンの曲の再生中は、プレーヤーソフト以外のアプリケーションを起動しないでください。	—

■ 希望する音が出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
特定のスピーカーから音が出ない。	• スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。	21
	• 設定メニューの“Balance”で左右の音量バランスを調節してください。	52
ステレオ再生のときに、左右の音声が入れ替わっている。	• 左右のスピーカーが正しいスピーカー端子に接続されているか確認してください。	22
“Bass”、“Treble”および“Balance”の設定が反映されない。	• メニューの“Source Direct”を“Off”に設定してください。	52
ヘッドホンの音量が小さい。	• インピーダンスの高いヘッドホンや感度の低いヘッドホンを使うときは、“H/P AMP Gain”を“High”に切り替えてください。	52

■ パソコン内のファイルを再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
パソコンで本機が認識されない。	• ご使用のパソコンの USB 端子に USB ケーブルを挿し直してください。挿し直しても本機が認識されないときは、別の USB 端子に挿してください。	23
	• ご使用のパソコンを再起動してください。	—
	• ご使用のパソコンの OS を確認してください。	31
	• ご使用のパソコンが Windows の場合は、専用ドライバーのインストールが必要です。	32
再生デバイスとして本機が選択されていない。	• パソコンのサウンド設定で、再生デバイスとして本機を選択してください。	31
“Unlocked”と表示される。	• デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlocked”を表示します。	39
“Unsupported”と表示される。	• 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。	39
	• ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI 設定”で、“PMA-60”のフォーマットが“384000.0Hz”以下に設定されているか、確認してください。	38

■ デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical)

症状	原因 / 対策	関連ページ
“Unlocked”と表示される。	• デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlocked”を表示します。	40
“Unsupported”と表示される。	• 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。	40

■ リモコンで操作ができない

症状	原因 / 対策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	• 電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。	19
	• リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。	20
	• 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	—
	• コイン型リチウム電池(CR2025)の向きが正しくありません。電池の+の刻印が上を向いていることを確認してください。	19
	• 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。	—
	• 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	—

■ Bluetooth 機器の再生ができない

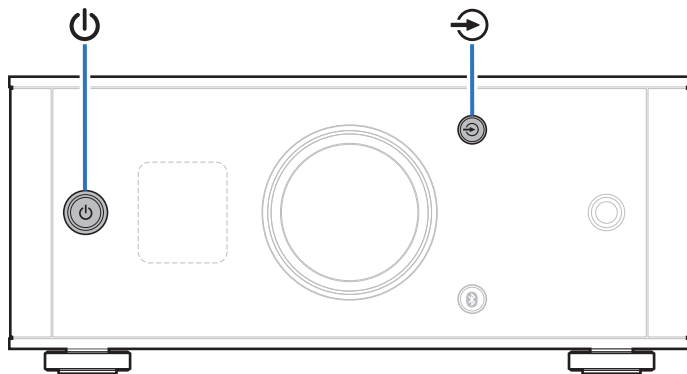
症状	原因 / 対策	関連ページ
本機に Bluetooth 機器が接続できない。	• Bluetooth 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください、Bluetooth 機能を有効にしてください。	—
	• 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。	—
	• Bluetooth 機器が A2DP プロファイルに対応していない場合、本機と接続できません。	—
	• ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してから、お試しください。	—
	• Bluetooth 機能がオフです。Bluetooth ボタンを押して、Bluetooth 機能をオンにしてから再度接続してください。	53
音が途切れる。	• 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。	—
	• 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。	—
	• 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。	—
	• Bluetooth の再接続操作をおこなってください。	—

■ NFC 接続できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
NFC 接続できない。	• Bluetooth 機器に NFC 機能が搭載されているか確認してください。	—
	• Bluetooth 機器の NFC アンテナ位置を確認して、本機の N-Mark (N) にタッチしてください。Bluetooth 機器が反応するまでしっかりとタッチしてください。	47

お買い上げ時の設定に戻す

正しく動作しない場合におこなってください。
各種設定内容がお買い上げ時の設定になります。再度設定をおこなってください。



1 本機がスタンバイの状態、⏻ を押しながら ⌂ を押す。

“INITIALIZE”を表示し、その後再起動します。

ご注意

- 本機に保存しているペアリング情報も初期化します。再度ペアリングをおこなってください。

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料……故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代……修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

再生できる音声信号の仕様

D/A コンバーター

□ USB-DAC

	サンプリング周波数	ビット長
DSD (2 チャンネル)	2.8/5.6/11.2MHz	1 ビット
リニア PCM (2 チャンネル)	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/ 384kHz	16/24/32 ビット

□ Coaxial/Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM (2 チャンネル)	32/44.1/48/88.2/96/ 176.4/192kHz	16/24 ビット

Bluetooth 機器の再生について

本機は、次の Bluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) :
この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、モノラル
やステレオの音声データを高品質にストリーミング配信すること
ができます。

Bluetooth 通信について

本機からの電波放送は、医療機器の操作を妨げることがあります。
電波干渉は故障の原因となるため、次の場所では本機と Bluetooth
機器の電源を必ず切ってください。

- 病院、電車、航空機、ガソリンスタンドや可燃性ガスを発生する
場所。
- 自動ドアや火災報知機の近く。

用語の解説

Bluetooth

近距離無線通信をおこなうための技術です。Bluetooth 機器とワイヤレスで接続することができます。Bluetooth 接続をおこなうには、あらかじめペアリング(登録)する必要があります。

DSD(Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の1つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、 Δ - Σ 変調されたデジタルオーディオです。

NFC (Near Field Communication)

近距離無線通信をおこなうための技術です。NFC 機能を持つ端末で本機にタッチするだけで、簡単に接続することができます。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ペアリング

ペアリング(登録)とは、Bluetooth 機器と本機を接続するために必要な操作です。ペアリングすると互いの機器が認証し合うので、混線することなく接続できます。

はじめて Bluetooth 機器を接続する場合は、最初に本機と本機に接続する Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。本機は最大 8 台までのペアリング情報を保持します。

保護回路について

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

リニア PCM

圧縮していない PCM (Pulse Code Modulation) 信号です。MP3 などの非可逆圧縮音源と異なり、音質やダイナミックレンジの低下がありません。

登録商標について



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、D&M Holdings Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。

Qualcomm® aptX™
low latency



Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.



N-Mark は NFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

主な仕様

■ オーディオ部

• 出力特性

定格出力:

両チャンネル駆動

25W+25W(負荷 8Ω、1kHz、T.H.D. 0.1%)

50W+50W(負荷 4Ω、1kHz、T.H.D. 1.0%)

出力端子:

スピーカー: 負荷 4~16Ω

ヘッドホン: Φ6.3mm ジャック

全高調波歪率:

0.004%(Digital in、定格出力 -3dB、8Ω、1kHz)

S/N 比:

110dB(Digital in、25W、8Ω、1kHz、IHF-A)

• デジタル入力信号

フォーマット:

デジタルオーディオインターフェース(リニア PCM)

同軸入力:

0.5Vp-p/50Ω

光入力:

-27dBm 以上

波長:

660nm

• 入力特性

入力感度/インピーダンス:

AUX: 0.13V / 22kΩ

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

■ Bluetooth 部

通信システム:	Bluetooth バージョン 3.0
送信出力	最大 2.5mW(Class2)
最大通信範囲:	見通し距離 約 10 m *
周波数帯域:	2.4GHz 帯域
変調方式:	FHSS(周波数ホッピングスペクトラム拡散)
対応プロファイル:	A2DP 1.3/AVRCP 1.5
対応コーデック:	aptX Low Latency/AAC/SBC

* 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

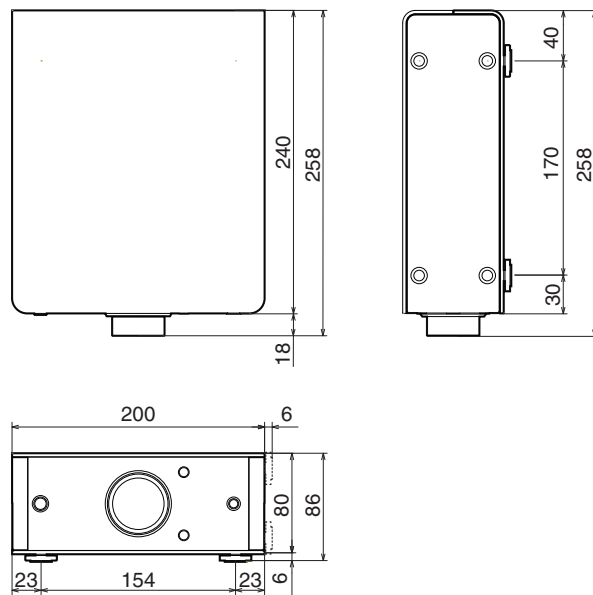
■ 総合

電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	35W
スタンバイ時の消費電力:	0.2W

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法

単位:mm



■ 質量:2.7kg

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

索引

🔊 B	
Bluetooth 機器	42
🔊 C	
CD プレーヤー	24, 25
🔊 N	
NFC 機能	47, 67
🔊 U	
USB-DAC	31
🔊 お	
オートスタンバイ	53
お買い上げ時の設定に戻す	63
音量	30

🔊 こ	
故障かな？と思ったら	54
こんなときの解決方法	55
🔊 す	
スピーカー	21
🔊 そ	
ソースダイレクト	52
🔊 た	
縦置きする	17
🔊 て	
ディスプレイ	10
🔊 は	
パソコン	23

🔊 ふ	
フロントパネル	8
🔊 ほ	
保護回路について	67
🔊 ま	
マルチポイント機能	48
🔊 み	
ミュートイング	30
🔊 よ	
横置きする	16
🔊 り	
リアパネル	11
リモコン	12







当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

 **0570 (666) 112**

FAX : 044 (330) 1367

■ 受付時間 9 : 30 ~ 17 : 30

(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

■ 上記番号がご利用いただけない場合  **050 (3388) 6801**

〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

■ お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQをご確認ください。

<http://denon.jp/jp/html/faq.html>

■ メールでお問い合わせをいただくこともできます。

<http://denon.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

 **0570 (666) 811**

■ 受付時間 9 : 30 ~ 12 : 00、13 : 00 ~ 17 : 30

(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

■ 上記番号がご利用いただけない場合  **0466 (86) 9520**

■ 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。

<http://denon.jp/jp/html/service.html>

■ 代表修理窓口

首都圏サービスセンター

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2010-16

FAX : 0466 (86) 9522

* ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

DENON®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

Printed in Vietnam 5411 11548 10AD

Copyright ©2017 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.